



推奨を作成した後はどうしますか？



診療ガイドライン全体を完成させた後に公開し、普及に取り組みます。また、診療ガイドラインは継続的に改訂していくことが求められます。

推奨を作成した後に、診療ガイドラインとして基本の構造である「クリニカルクエスチョン」と対応する「推奨」に加え、その一覧であるガイドラインサマリー、診療の全体を示したアルゴリズム、および診療ガイドラインの作成の過程などを編集します。また日本の診療ガイドラインでは、利用者の理解を助けるために、診療ガイドラインのテーマに関する疫学的、臨床的な特徴などを含めることもあります。診療ガイドライン全体を完成させるにあたっては、パブリックコメントが広く募集されたり、外部評価が行われたりする場合があります。（最終化）

診療ガイドラインが完成したら、多くの人が利用できるよう書籍、ウェブサイトなどで公開します。実用版、簡易版など活用促進に向けた文書も作成します。また、患者に向けた解説を作成することも普及に向けた重要な作業となります。

診療ガイドラインが世の中で広く普及することによって、実際の診療場面で、患者と医療者がよく話し合い、協働して意思決定をすることができるようになることが期待されます。（公開・普及）

また、将来的には、診療ガイドラインの導入による医療の質の変化についても評価することが望まれます。そして、診療ガイドラインは一度作成されればそれで終わりではなく、エビデンス（科学的根拠）や医療制度の変化を踏まえ、継続的に改訂を行っていきます。（改訂）

